

# 豊田民報

日本共産党豊田市委員会  
◆豊田市日之出町一・六・六  
Tel: 三三・四七・七二  
毎週一回発行

## 土石流の被災者ご要望を聴き取り 熱海市もとむら衆院議員レポート

もとむら伸子衆院議員（日本共産党）が7月4日、土石災害被災者から要望聴くため熱海市に行きました。以下は、もとむら議員によるレポートです。（左上写真は翌日に沼津市で）



左から、もとむら議員、鈴木県議

土石災害で亡くなられたお一人お一人に心からのお悔やみを申し上げます。

4日、被害にあった熱海市に井上さとし参院議員らと伺い、地元の方々に案内していただきました。私たちは、大きな被害のあった伊豆山地区の皆様が避難されておられた熱海中学校、中央公民館、総合福祉センターへ伺いました。

食事は、備蓄しているアルファ米、パン、おにぎりだったようです。今日は、避難所ごとに違うようですが、支援の食べ物も届けられたそうです。（左写真）



熱海中学校では、「毛布一枚で、夜寝る時寒かった」との声

も。今日、マットや畳、間仕切りも届きました。避難されている方々は、熱海市内のホテルに今日中にも入れるとのこと。自主防災会の皆様が前から熱海市に、ホテル・旅館の皆様と協定を結ぶように要請されていたようで、実際に災害がきて、比較的早い対応になったそうです。

その点は良かったのですが、今後の生活のことを考えると不安だと思います。

避難所でお話を伺ったある方は、「防災無線スピーカーからは何も聞こえず、状況がまったく分からない中、消防団の方や警察の方から今すぐ逃げてと呼びかけられ、急いで着の身着のまま逃げてきたため、お金も携帯電話もない。本当は5分だけでも自宅に帰してほしいが、難しいと言われている。そもそも何故災害が起こったのか、原因究明をしてほしい」と強く何度も語られました。

また、ある女性は、「1日3回飲む薬も処方箋もなく困っている。避難所で夜、寝られなかった。保健師さんに伝えて、ホテルでお医者さんが来てくれると言われているが、早く薬が欲しい」と繰り返し、不安な気持ちを語られました。

他避難所では、女性更衣室が無いなどジェンダー平等の視点にたった避難場運営の課題もあることが浮き彫りになりました。

### 国道の復旧求められる

地元の小坂市議から、国道135号線の復旧の目処が立たず、移動もままならないことが語られました。私も国土交通省中部地方整備局に国道の復旧について聞きましたが、静岡県管理なので目処については言えないとのこと。ただし、緊急災害対策派遣隊などを派遣して復旧の支援はしていくと

のこと。

被災された方々、避難されている方々のご要望を一番大切に確認しながら、それぞれ調査に取りました。行方不明の方々もおられ、どうか生きていていただきたいです。

80軒もの建物が流されてしまったとの話もあり、家を流されてしまった方々の生活再建ができるまで、地元の皆様と力を合わせていく決意です。

（レポートは一部を省略）もとむら議員は、日本共産党国会議員団の「熱海市土石流災害対策本部」の事務局長として引き続き支援活動にとりくんでいます。

## 豊田市の学校体育館にも エアコン設置を

日本共産党豊田市委員会（根本みはる委員長）は、災害時には避難所になる小中学校の体育館にもエアコン設置を求めてきました。2021年、2020年、2019年度予算要望書に明記など。

昨年と今年の夏季は豊田市で、コロナ対策のため体育の授業でプールに入ることができません。昨年6月には体育の授業後に熱中症で救急搬送された小学生も。

災害対応やコロナ対策のため、学校体育館へのエアコン設置を急ぐべきです。（本多のぶひろ）



2021年度予算要望書を豊田市に提出（昨年11月、根本議員は中央）



# 子どもたちを交通事故から守るために 平井こども園前の道路拡幅計画は安全か

千葉県八街市（やちまたし）で6月28日、集団下校中の小学生の列に大型トラックが突っ込み、男児2人の尊い命が犠牲となる事故が引き起こされました。子どもを巻き込む事故を聞いたときに思い出されるのが、1966年（昭和41年）、越戸保育園の園児10人と保育師1人が死亡、22人が重軽傷を負った猿投ダンプ事故。あれから50年が経過しましたが、通学路で子どもたちが交通事故に巻き込まれる事故は後を絶ちません。

2019年5月、滋賀県大津市で起きた保育園児・保育士16人の死傷事故をきっかけに、保育園の散歩コースや学校の通学路の安全点検などが行われました。危険箇所を解消する取り組みがなにより急がれます。同時に、歩行者より自動車優先されている日本の道路・交通政策のあり方も問われています。

このような中で、平井こども園（豊田市百々町）の目の

前の道路を拡幅する計画が進められようとしています。2年前には地元説明会が開かれているものの、住民やこども園の関係者、保護者には、計画は全く知らされておらず、「おかしい」と疑問の声が上がっています。市が提示したこども園前の道路計画A案に対して、12年前には、地元自治区からこども園前を避けて通るB案が提示されていたが、審議がされないまま、市のA案で計画が進みつつあります。

この道路整備は、豊田外環状線と県道をつなぐための整備であり、豊田外環状は、広域的なネットワークを形成する重要な路線として、長期的計画・整備が進められてきま



した。住宅開発と併せて、豊田外環状から百々町を通過して、県道につながる道路が必要なのは、1区間に続く2区間の道路整備計画からも明らかです。

平井こども園の駐車場は、園の前の道路を挟んで新たに作られたことで、登園・降園時には、保護者も子どもたちも通過車を避けて、道を渡る毎日です。横断歩道さえ無く、いつ事故が起きてもおかしくありません。今後、道路の計画で道幅が広がれば、ここ

を通って豊田外環状線と県道を行き来する大型車が増え、近くの平井小学校の通学路とも交差しており、「さらに危険な道路になる」と、住民の皆さんからも心配の声が上がっています。今年2月には「豊田市のこども園を考える会」と根本みはる市議は、保

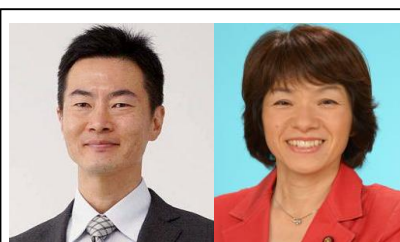
育課、土木課、交通安全防犯課に、平井こども園前の道路拡幅・整備と、交通安全問題について「事業計画についてこの経緯を全面的

に検証すること。市の計画A案ありきでなく、住民・園関係者・市民の意見を幅広く聞いて事業計画を見直すこと」「こども園のことも達を始めとする関係者、住民の交通安全を第一として、各課が連携して、交通事故防止対策を講じる事」を申し入れました。

今後、子どもたちが安全に通行できる横断歩道設置も含め、交通安全を願う地元住民の意見を反映させていく必要があります。

## 志位委員長 中国共産党習近平総書記の発言にコメント

日本共産党の志位和夫委員長は2日、中国共産党の習近平総書記が同党創立100周年記念の演説で「覇権主義と強権政治に反対する」と発言したことについて、ツイッターで「東シナ海や南シナ海でのふるまいを『覇権主義』と呼ぶとして何と呼ぶのか。香港やウイグルへの人権侵害を『強権政治』と呼ぶとして何と呼ぶのか。中国は国際法を順守せよ―国際社会が求めることが大切です」と述べました。（日刊「しんぶん赤旗」7月3日付より）



本多のぶひろ 衆院選愛知11区予定候補



根本みはる 豊田市議会議員

法律相談は弁護士  
生活相談は随時  
お申し込みは根本議員か  
日本共産党西三地区委員会まで  
Tel.0564-11311 二七八五



もとむら伸子 衆議院議員

無料 法律・生活相談  
おこなっています

福島を忘れない！原発ゼロ  
金曜行動

7月9日(金)  
市駅西改札口

23日(金)  
市駅マック横広場集合

午後6時～

主催：さよなら原発豊田市民行動連絡会